

PROGRAM

プログラム
自主編成プログラム(以下自主編成)として高粉厚珍
で文系の総合のような

稜 高ひ

京 刊号 材誌

券 て

k 長 濂 牡

丸一真美さん

15年度生 自主編成プログラム



TO THE FUTURE

INTERVIEW

X TO

STUDENTS

プログラム

環境共生科学プログラムに所属しています。環境共生科学プログラムを選んだのは、自分の関心があるさまざまな分野が幅広く学べると思ったからです。環境の中でも、どちらかという社会環境系です。中学のときから環境問題には関心があったので、その後、社会環境という分野もあるのだと知りました。例えば、社会環境という分野では、住環境、職場環境、女性が子供を産みやすい社会の環境など、いろいろな問題があります。将来何をしたいかはまだはつきりとは決まっていないのですが、地域や生活に密着したことがやりたいと思っています。

また、展開研究を通じてユニバーサルデザインという考え方に興味を持ちました。誰にでも使いやすいものを考えるという視点は、毎日を生きていく上で大切なものだと思います。ユニバーサルデザインの考え方ができる人になりたいです。ユニバーサルデザインは確定したものであるとして「これ」といえるものがないので、そこが難しいところですが、今は福祉住環境コーディネーターの資格試験を受けられたらと思っています。これからも、自分がユニバーサルデザインについてもっと深く知って、世間の人にも、知ってもらえたらと思います。

課外活動

賀茂地区BBS会とフォークソング同好会に入っています。いろいろな行事がいつぱんに重なったりして大変な面もありますが、楽しいです。賀茂地区BBS会はボランティア



瀧口雅子さん

16年度生 環境共生科学プログラム

サークルで、児童自立支援施設におじゃまして、子どもたちに勉強を教えたり、レクリエーションなどをしたりします。施設で子どもたちと接することを通して、人と接することの難しさを感じることも、逆に、人間関係ができていくことの良さを実感することもあります。

フォークソング同好会では、バンド活動を行っていて、ドラムを担当しています。音楽をやっている者として、いろんな方に聞いてもらいたいという思いがあります。私たちのことを知っている人たちが増えていくと嬉しそうです。フォークソング同好会では、サークル単位のライブなども行っています。毎年の大きな行事としては夏にサマーコンサート、冬に定期演奏会を予定しています。ほかにもいろいろな活動が一般公開されているのでぜひ来てください。

大学生活を通して

たくさんの方に手を貸すようにしている気もしますが、充実した大学生を送っています。ユニバーサルデザインやボランティアをやっているおかげで、障害のある方と接する機会ができました。また、児童自立支援施設での活動やフォークソング同好会を通して、さまざまな人とのつながりができました。そういった今までにない人との出会いが、大学に来て増えたと思います。

ユニバーサルデザインやボランティアだけでなく、多くのことに興味があって、やりたいことは広がります。まだ迷っていることも多いですが、地域社会や生活に密着したことが

がやりたいと考えています。

プログラムを選ぶにあたって迷っている人は、迷っているからこそ行動しましょう。自分で調べたり先生から情報を頂いたりして前もって知識を得て、自分が1番行きたいと思えるところに行くのがよいと思います。

(文 17生 石谷絢)

担当

16生 田中栄一郎
17生 石谷絢 見世梨沙

村上真理恵

EVERYDAY

SOUKA E